

第1回国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議 議事概要

1. 日 時：平成20年7月29日（火）13:30～14:00
2. 場 所：中央合同庁舎2号館低層棟共用会議室4
3. 出 席：[省庁] 内閣官房、内閣府、公正取引委員会、警察庁、金融庁、総務省、
公害等調整委員会、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、防衛省、人事院、会計検査院
[北海道] 山本副知事、知事政策部知事室次長
[国土交通省北海道局] 奥平北海道局長、参事官

4. 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議事
 - 1) 各省庁連絡会議の設置について
 - 2) 北海道における国際会議誘致の取組について
 - 3) 今後のスケジュールについて
- (3) 閉会

5. 議事及び主な発言内容

- 1) 各省庁連絡会議の設置について
各省庁連絡会議の設置要綱の案（資料2）について事務局より説明し、案のとおり了承。
- 2) 北海道における国際会議誘致の取組について
資料3に基づき北海道より説明。
 - ・ 史上最大規模となった今回のサミットには、政府関係者や報道関係者などが多数来道し、全世界に北海道の名前が広く知れ渡った。
 - ・ 昨年4月の北海道洞爺湖サミットの開催決定後、経済界や市町村と連携して、サミット道民会議を設立し、受入れ準備等に取り組んだことにより、官民協働の意識が高揚した。
 - ・ サミットの開催により、国際会議の開催・受入に関する更なるノウハウの集積と自信を得ることが出来た。
 - ・ サミットの効果を持続・発展させながら、北海道の活性化に結び付けていくことが重要である。国際会議等の誘致・開催をサミット終了後の取組の柱の一つとして、オール北海道で積極的に取り組む。
 - ・ 国際会議開催地としての北海道の優位性は次の4点である。
 - ① 豊かな自然景観や安全・安心で美味しい食などの魅力的なエクスカージョン
 - ② 充実した交通アクセス
 - ③ 安価でハイグレードなコンベンション機能
 - ④ 蓄積された開催支援ノウハウ

- ・北海道は、地球環境問題への貢献や、安全・安心な食料の供給などの面で中心的な役割を期待されていると考えられる。今後、食や環境、エネルギーなどの分野をテーマとした国際会議を中心に誘致等に取り組む。
- ・また、環境に配慮して会議を運営する「グリーンコンベンション」の取組が地域で進められており、この手法を北海道から世界へ普及していく。
- ・今後、国際会議誘致の体制強化のため、①官民挙げた誘致体制を構築、②国際会議誘致に積極的な市町村に対して、北海道庁を挙げてサポート、③道庁内関係部局が一体となって取り組むため、連携体制を充実、④道庁内にワンストップ窓口を設置、といった取組を進める。

3) 今後のスケジュールについて

資料4に基づき、事務局から今後のスケジュールについて説明。

- ・先ほど説明のあった北海道の取組を踏まえ、当連絡会議として基本方針を策定し、北海道の取組を支援して参りたい。今後、各省庁と調整の上、秋頃の第2回連絡会議で決定したい。
- ・基本方針策定までの間にも、官民協働の誘致体制の構築など北海道による取組に対し、各省庁の道内地方支分部局の御協力をお願いしたい。また、各省庁主催の国際会議等について、北海道開催の検討を始めていただきたい。

以 上

(速報のため、事後修正の可能性があります。)